

結果の概要

1 登録免許税

令和2年度に全国の法務局及び地方法務局で取り扱った課税登記件数（以下「件数」という。）は831万2481件、納付された登録免許税（以下「納付額」という。）は、5858億5113万円である。

(1) 件数について

登記種別ごとの内訳は、不動産登記が696万1316件、商業・法人登記が131万9186件、その他の登記が3万1979件である。

(2) 納付額について

ア 登記種別ごとの内訳は、不動産登記が5152億4128万円、商業・法人登記が671億775万円、その他の登記が35億210万円であり、構成比はそれぞれ87.9%、11.5%、0.6%となっている。

イ 平成27年度を100とした指数による推移は、下表のとおりである。

これを登記種別ごとに見ると、不動産登記については、平成28年度に上昇したものの、平成29年度以降は低下が続いており、令和2年度は92.0ポイントとなっている。

商業・法人登記については、平成29年度まで不動産登記と同様に推移した後、平成30年度は上昇し、令和元年度に再び低下に転じたが、令和2年度には再び上昇し、123.6ポイントとなっている。

その他の登記については、平成30年度まで上昇が続き、令和元年度は低下に転じたが、令和2年度には再び上昇し、155.1ポイントとなっている。

登録免許税納付額の推移（平成27年度＝100）

種別	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
総額	100.0	104.9	101.8	102.2	100.2	95.0
不動産登記	100.0	105.0	102.1	100.1	98.9	92.0
商業・法人登記	100.0	103.1	97.7	121.8	111.8	123.6
その他の登記	100.0	106.6	118.8	155.0	150.2	155.1

2 登記等手数料

令和2年度における登記等手数料の納付額（登記等手数料の種類については、統計表第5表（20-41-5）参照）の総額は、698億4258万円である。

平成27年度を100とした指数による登記等手数料の納付額の推移は、下図のとおり平成30年度まで上昇が続いていたが、令和元年度以降は低下が続いており、令和2年度は102.2ポイントとなっている。

